

進捗報告

(奈良女テストベンチでのROCportと電源コネクタの破損)

2022/10/5

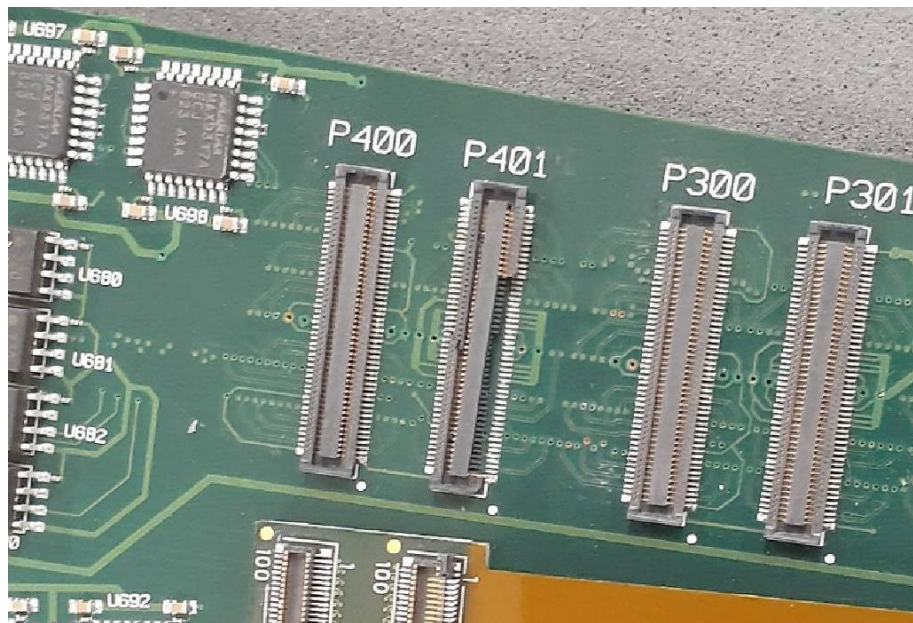
M1 杉山由佳

A3portコネクタの破損

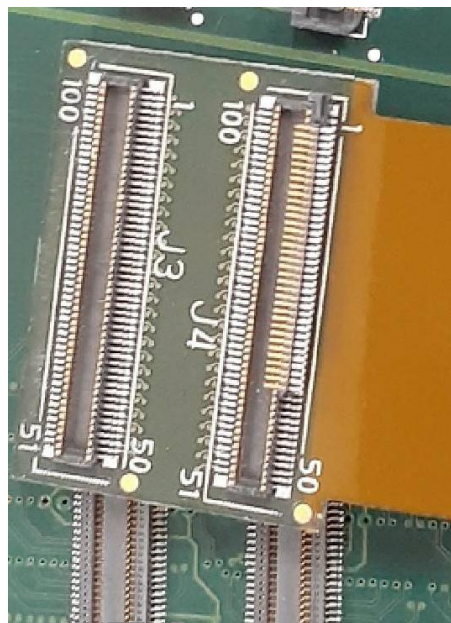
9/15にA3port接続時にFPHX電流値が不安定になってからは、A2portを代わりに使用していた。

今回、A3portで測定結果が望ましくないことをまとめるために、正常にキャリブができるL5Sラダーを用いて、A3portとA2portで測定を行おうとした。

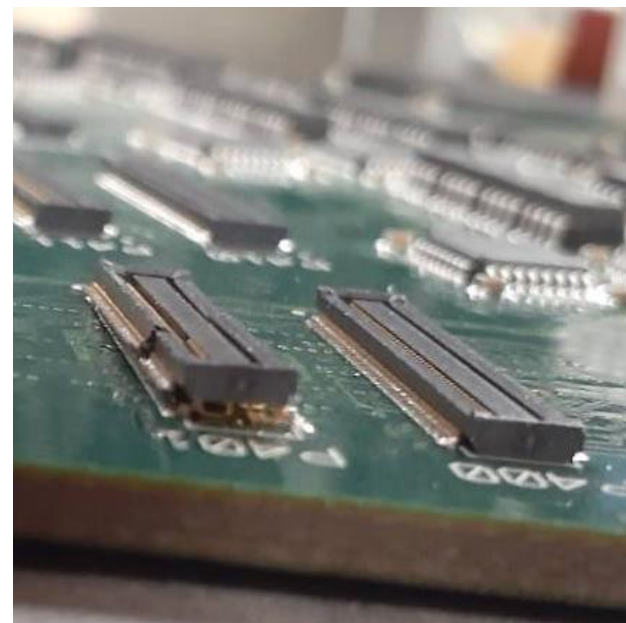
しかし、port変更時にA3portのコネクタが剥がれて壊れてしまった。



2022/10/5



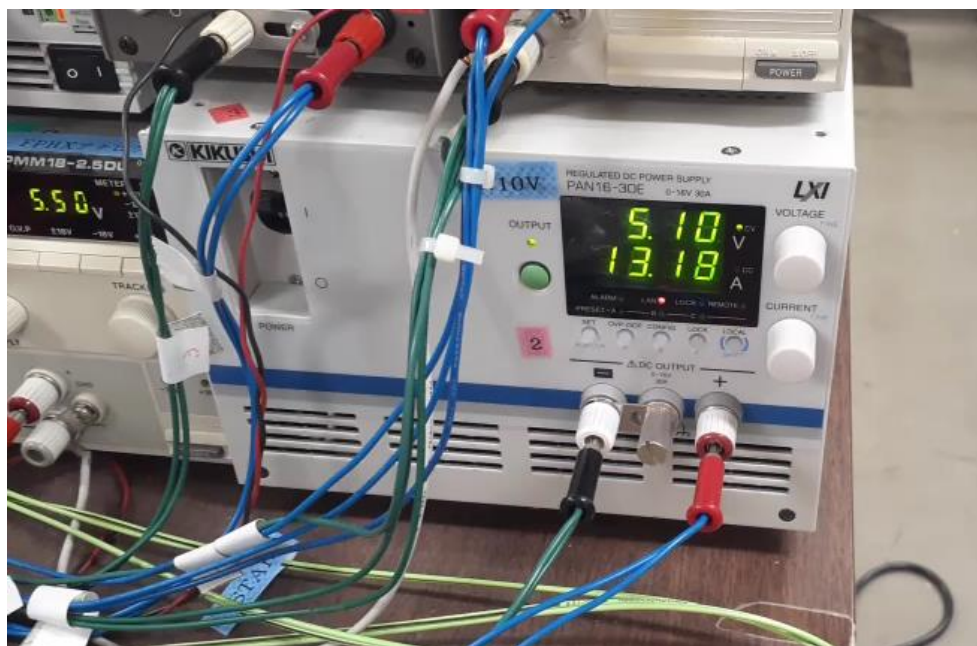
INIT JP



FPHX・ROC電流値の不安定

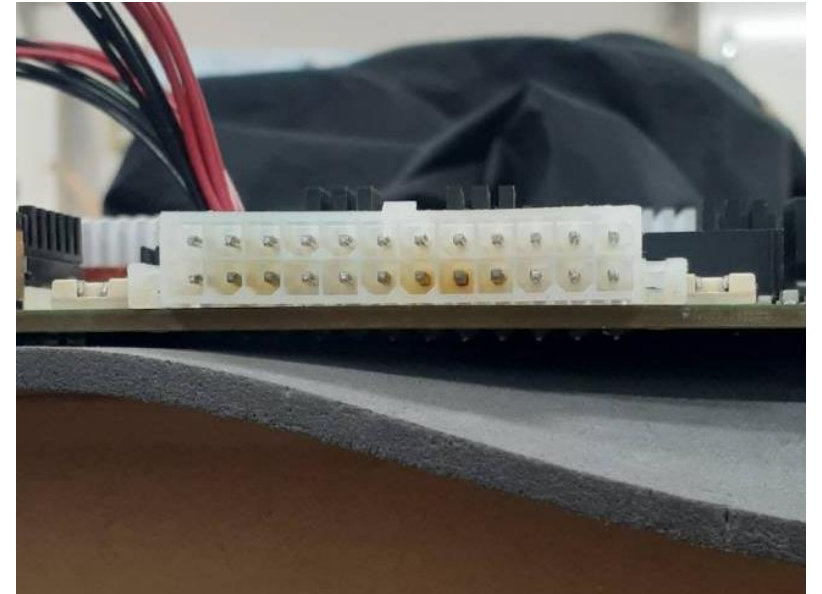
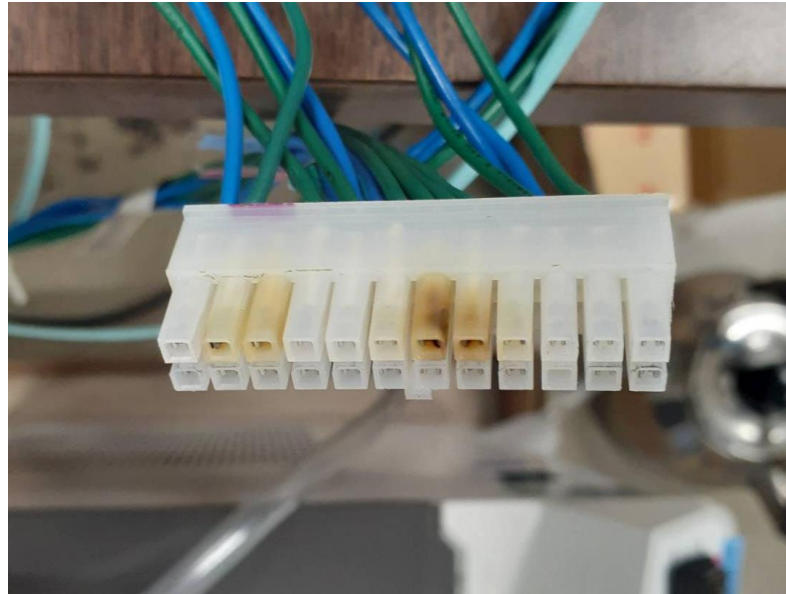
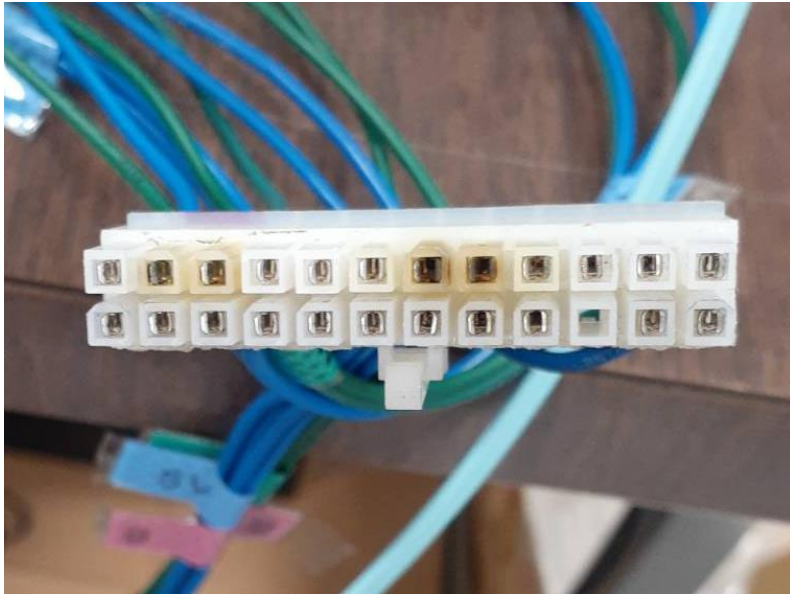
同日(9/27)にL5Sラダー、conv.cable#3(or#9)、A2(C1)portで測定を行った。

今までL5Sは正常にキャリブがとれていたが、FPHXやROCの電流値が不安定になったり、測定途中でFEMが落ちてデータがとれなかったりした。



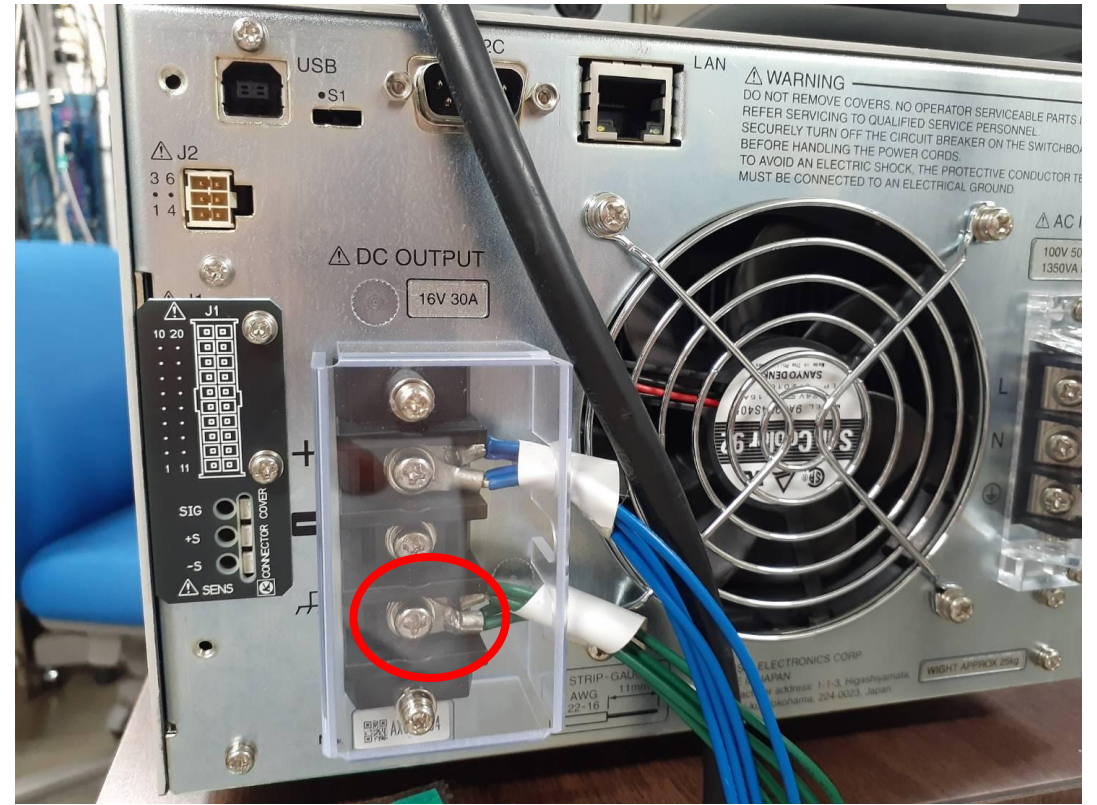
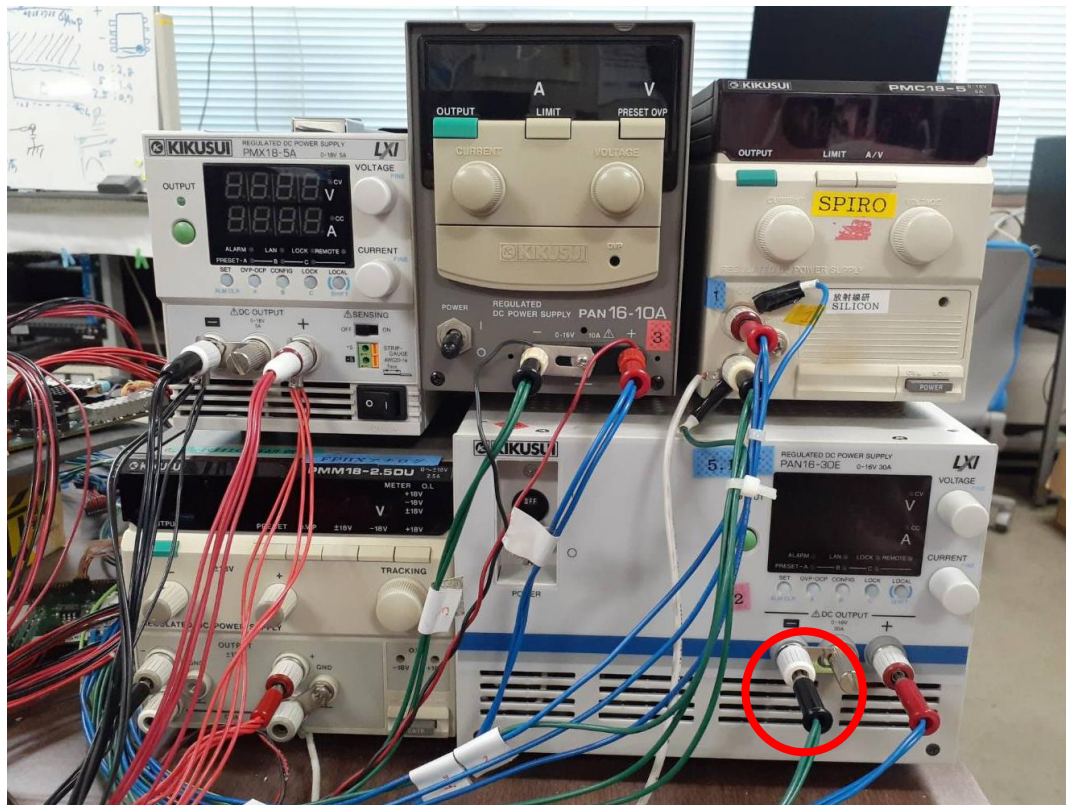
ROC電源コネクタの破損

後日ROCからROC電源ケーブルを抜いたときに、ケーブル側のコネクタに茶色の焦げのようなものが発見された。一方、ROC側のコネクタは、ケーブル側のコネクタの茶色が移っているように見られた。



ROC電源コネクタの破損

変色した部分につながっていたケーブルは、ROC電源の前面にあるマイナスと、背面にあるGND?に接続してあった。



ROC電源コネクタの破損

焦げの原因はまだ分かっていないが、発火する恐れがあるため、現在テストベンチは動かしていない。
復旧に向けて、電源ケーブル・コネクタ(必要であればROC電源も)の交換を行う予定である。